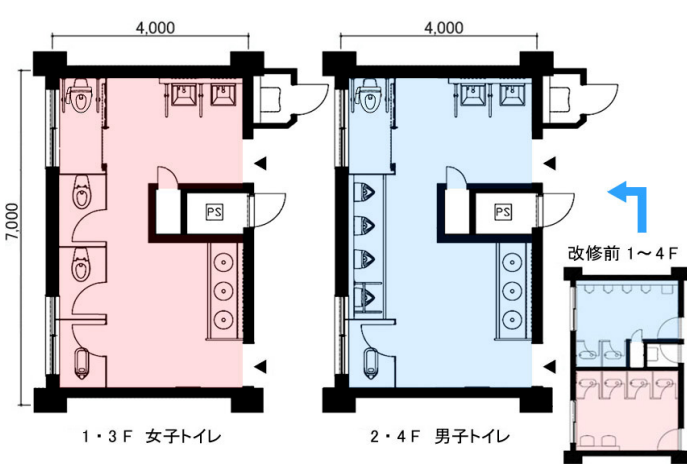


外観



大阪府立砂川高校と泉南高校を母体として、平成21年に新設された「普通科総合選択制」の高校。学校の活性化や教育活動を充実させるために、さまざまな取り組みを行っている。

トイレ図面



5棟ある校舎のうち、最も古い校舎のトイレ1系統・4ヶ所を改修。男女別だったトイレを1つの空間とし、フロアごとに男子専用トイレ・女子専用トイレに変更。ゆったりとしたスペースを確保している。

洗面コーナー①



カウンター洗面器は、歯みがきコーナーとしての利用も想定。鏡は、万一割れてしまった場合に部分的な取り替えで対応できるよう、3つに分割して設置。出入口近くには、全身鏡も取り付けしている。

洗面コーナー②



反対側の出入口近くには壁掛洗面器を設置。水栓金具はノンタッチで水の出し止めができ、水じまいもよい壁付の自動水栓を採用。洗面器下には、清掃用のキー式水栓を設置している。

トイレ入口



改修前のトイレの入口をそのまま活用。2ヶ所の入口のどちら側からでも出入りすることができる。男子トイレのサインの下には、女子トイレがあるフロアの案内を表示している。

掃除用流しブース



廊下側に掃除用流しブースを配置。ぞうきんやモップをかけるためのフックが付いたバーや、トイレペーパーなどを置く棚を取り付け、掃除用具や備品が整理整頓できるようにしている。

簡易多機能ブース



各トイレに簡易多機能ブース(950mm×2000mm)を1ヶ所設置。開口部を広く確保するために引戸を採用し、手すり、音姫(擬音装置)機能を搭載したウォシュレットを設置している。

大便器ブース



洋式便器はすべて5.5L洗浄の節水便器を採用し、小物が置ける棚付二連紙巻器を設置。さらに女子トイレには、音姫(擬音装置)とチャームボックスを完備している。和式便器は各トイレに1ヶ所設けている。

男子トイレ 全体



屋外から砂が入りやすいため、床はタイル張りを採用。床の掃除がしやすい低リップタイプの壁掛小便器を採用し、汚だれ石を足元に設置。壁面には、移動教室等の際の荷物置き場として、折りたたみ式の棚を設けている。

女子トイレ 全体



個室感を高めるために、大便器ブースの間仕切り壁を天井まで立上げているが、完全な密室にはならないよう扉の上部はオープンにしている。

建築概要

名称	大阪府立りんくう湘南高等学校
所在地	大阪府泉南市樽井2-35-54
施主	大阪府
設計	寿建設株式会社
施工	株式会社鈴木設備研究所
工事期間	2011年7月～2012年3月
竣工年月	(改修)2012年3月

水まわりの特長

<改修の経緯>
大阪府では府立高校の教育環境改善のため、昭和40年代前半より以前に建てられた高等学校20校のトイレ改修工事を、平成23年度から5年計画で進めている。初年度は、給排水設備を含む改修工事を4校で実施した。また平成26年までには、すべての府立高校の耐震補強工事も完了させる予定となっている。りんくう湘南高校の校舎は、創立60年以上の歴史を持つ泉南高校から引き継いでいるため老朽化が目立ち、特にトイレ改修の要望が多く上がっていた。

<トイレの特長>
男女別に分かれていたトイレを、フロアごとに男子専用トイレ・女子専用トイレとすることで、ゆとりあるスペースを確保。歯みがきもできる洗面コーナー、車いす使用者やケガをした生徒も利用しやすい広々とした簡易多機能ブースなど、充実した環境を整えている。

<校長先生からのコメント>
完成した空間をどのように教育活動に生かしていくかが重要と考えている。洗面コーナーを活用して学校歯科医による口腔ケアの指導を実施したり、美化意識(自分が使うものは自分できれいにする)を定着させるなど、生徒の意識を高めていきたい。